

第65号議案 令和3年度長崎市一般会計補正予算（第9号）

目次

1 生活保護費（3.3.2）	ページ
生活保護費事務費	…………… 1～2

中央総合事務所

令和3年6月



予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
22~23	3 民生費	3 生活保護費	2 生活保護費	1-1	生活保護費事務費	千円 9,000

1 概要

生活保護業務においては、要保護者の訪問調査活動や毎月の保護費算定に伴う多くの事務処理を行っており、業務の効率化や負担の軽減が必要である。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からも、調査対象者との接触時間を短縮し、効率的に訪問調査を継続して行える環境を整備するため、訪問調査用のタブレット端末を導入し、活用を図るものである。

2 事業内容

区分	補正額	内 訳				
委託料	4,760千円	システム導入業務委託 4,500,000円				
		システム保守業務委託 (R4.1~R4.3) 260,000円				
備品購入費	4,240千円	タブレット端末等 3,090,000円				
		<table border="1"> <tr> <td>タブレット端末</td> <td>@83,380円×30台</td> </tr> <tr> <td>付属品</td> <td>@19,620円×30セット</td> </tr> </table>	タブレット端末	@83,380円×30台	付属品	@19,620円×30セット
		タブレット端末	@83,380円×30台			
付属品	@19,620円×30セット					
ソフトウェア 1,150,000円						
		Microsoft office @38,333円×30台				
計	9,000千円					

3 訪問用タブレット概要

(1)導入台数 30台(中央・東・南・北総合事務所) 各係に3台程度配置

(2)導入効果

ア 訪問時確認事項等をタブレットシステムで管理することで、調査の迅速化、接触時間の短縮とともに確認漏れを防止することにより適切な家庭訪問調査を行うことが可能となる。

イ 訪問時の準備時間を短縮するとともに、訪問時においては持ち出しデータの増による質問回答時間短縮、制度説明の迅速化及び質の向上が図れる。

ウ 訪問時に記録データの入力となされるため、訪問終了後のケース記録時間の短縮が可能となる。

エ 効率化により約7,560時間の業務短縮効果が生じるため、家庭訪問不在時の再訪問など生活保護業務の充実が図れる。

オ 個人情報のセキュリティ強化が図れる。

(生体認証・データ暗号化・一定時間経過後のデータ消去等)

4 導入スケジュール (予定)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
システム導入	← 契約 →		← システム導入 →						
タブレット端末等購入	← 契約 →					← 納品 →			
運用							← 運用 →		

5 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
9,000	9,000	-	-	-	-

※ 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 (定額補助)